

日泰辭書原稿「キ」の部 (4)

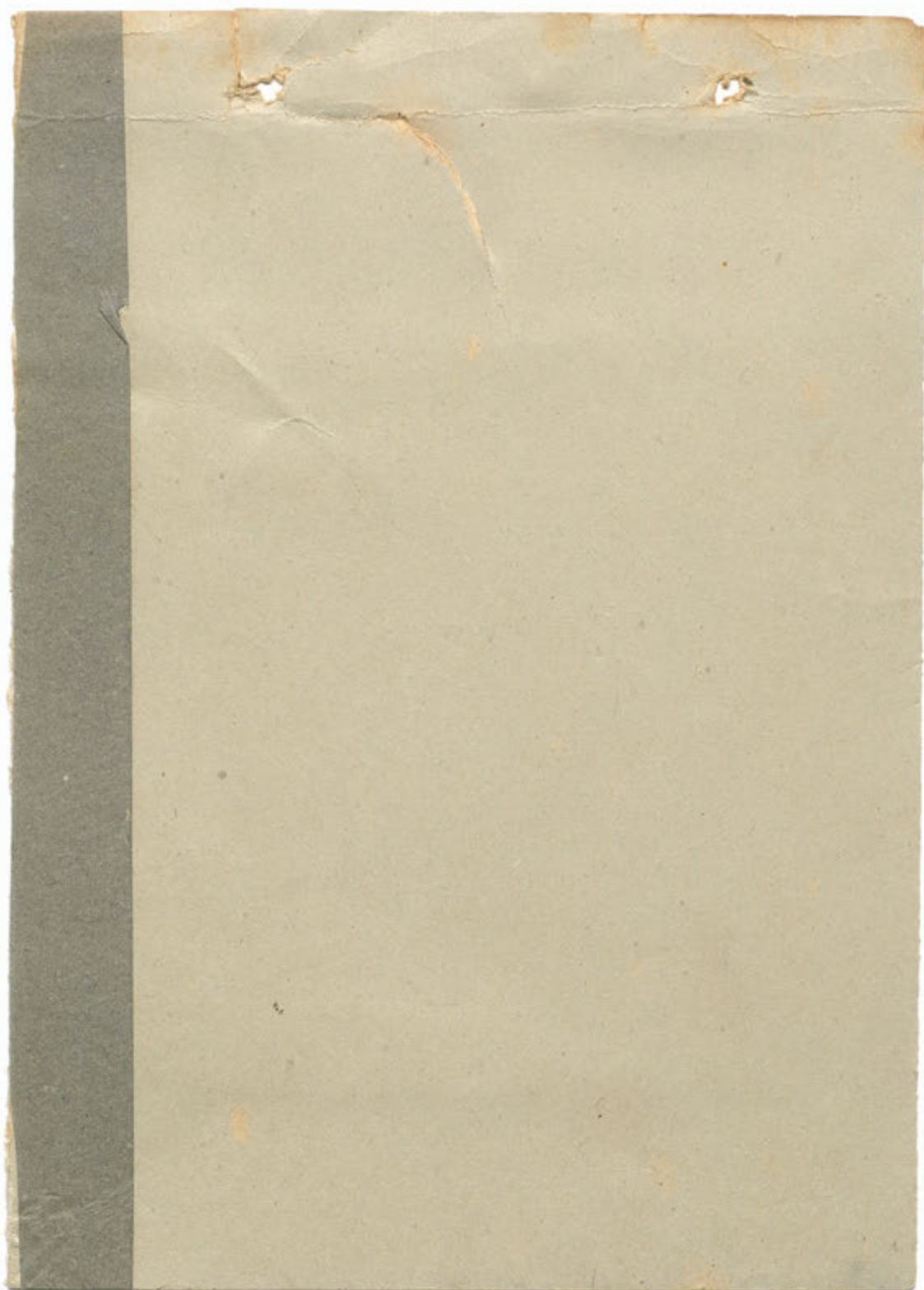
キヨオサヨリキリスまで

第一次検討 (主として用例) 伊丹

第二次検討 (助詞其他) 淺野

第三次検討 (品詞分類) 中島

第四次検討 (全般) 長沼



#7  
9  
部  
(4)  
( )

キヨウケン

けうくん

教訓

■

○この話の中には深遠な教訓が含まれてぬ

る

(す)

○正成は櫻井駈に於て我が子正行に教訓し

た

キ  
オ  
サ  
ン  
き  
よ  
う  
さ  
ん  
共  
産

○ 共産組合

○ 共産黨

○ 共産主義

ギョ  
ヤオ  
サン  
ぎやうさん

仰山

(名) 形動

大げさな、仰々しい

○ 彼は刻はよくて 仰山を身振で面白をかし

く 其の場の有様を 語った

仰山

敵は 毎日百機二百機と 仰山を教て来龍を引

自のたから 物腰い

キヨウシ  
ハケ  
シ

教師

(名)

△學生が使ふと尊敬の意味がふいふ。先  
生が適當。

○私の友達で女学校の教師としてゐる者が  
居る。

○教師と生徒。

キヨウオ  
ジ

けいじ

【教示】

—する他は

存じます。

敬  
ゴ

〇何卒然るべく御教示を頂きたく御願ひ申

申し上げます。

( | )  
す

〇御気付きになつた矣は御遠慮なく御教示

して下さい。



キヨウジ

きようじ

凶事

(名)

○ 昔は日食は何れ凶事の前兆と考へられた。



キヨウ  
カ  
シ  
ツ  
ケ  
ク  
シ  
ツ  
教室  
(名)

○ 僕等の教室は二階にある。

○ 音楽教室。

○ 理科教室。

キヨクシヤク  
マヤウシヤク

強弱

(名)

○ 材料の強弱を試験する。

○ 強弱を試験する。

キヨオシ  
ケロシ  
教授  
名  
する。他

ハ 教師。高等専科学校以上の学校の教師

ハ 名譽教授。

ハ 社会科教授。経済学部の  
あの人

ハ 大学の教授だそうに。

ハ 山田教授は月曜から講義を始める。

ハ 教授すること。

ハ 実地教授

ハ 教授法。

ハ 法学教授。

ハ 初學者に教授する。

キヨウオニク きようしゆく **恐縮** ーする。 自・サ変

○ 恐縮ながら皆様へよろしくお傳へ下さ

○ わい。 お来迎（いたげ）して来縮です。



○ 彼から誤を指摘されて大いに恐縮した。

△ キオオシク と発音する事が多い。

キ  
ア  
シ  
コ  
マ  
ヤ  
ウ  
シ  
ヨ

行書

（右）

○ 行書が  
か  
喜し  
○

○ 二の  
行書は  
ま  
が  
か  
し  
く  
て  
讀  
ま  
す  
か  
ら  
い  
○

め  
は  
い

キヨクジヨク  
けろ<sup>い</sup>やろ  
教場

(名)

○教場では静かとしなければならぬ。

○廣い教場。



オシロオ

ぢやうじやう

行商

(名)

○行商人。

○行商に行く。

○行商を歩く。

(動)

他

キヨヤズイ

ギヤウズネ

行水

(名)

|| 目カ変

○ 有人まり暑いから行水ミ使はうか

○ 行水ミたらさつばりミ来た

キヨウセキ

けいせい

矯正

する他サ変

〇 吃音の矯

正すく先すく

急あせがあせ

落着いて物を

書き練習の始めのうちに

（ ）

〇 悪癖を矯正する。正しい事ならよくして

それなら行はれるものではない。

キヨウセキ キヤウセイ [強制] 一する他并変

○調停法には別々強制力は無い。かたがた 此より

~~此れもかなければ訴訟するより件方がな~~

し。

↑ さま

○君にはそんな事を強制する権能利はない。本

し。

○強制的に注射とさせられた 一たさいと云いのでけな

誰でも

キヨオセキ

きやうせい

行政

(名)

○教育行政に明かる人

○僕はかろいふ方面の行政について

少しも知らぬ。

○彼は行政的手腕がある。

○行政官廳

○行政機関

○行政裁判

○行政區劃

キヨ  
オン  
オ

キ  
ヤ  
ウ  
サ  
ウ

競  
争  
ノ  
一  
ノ  
一  
ノ  
一

名

動  
他  
サ  
史

○あの學校は試験の競争がはげしい。

○私も競争に加はりませう。

○さうむきになつて競争—なくともよい

で  
せ  
う。

○競争心をあふりたてる。

キョオダイ キヤウダイ 兄弟 名

○ 義理あつちの兄弟のやうに仲がよい

○ 兄弟のよしみむねを結むすぶ

○ あの人とほ兄弟分の間柄だ

○ 兄弟喧嘩

○ 異母(父)兄弟

キョオダイ キヤウダイ 強大 名形動

○我國は強大な海軍を有持つてゐる。

○あの國はこゝ、數年の間に敬あやましく程強大に

なつた。

△兄弟強大は其にキョオダイであるが兄弟は

キョオにアクセントがつき強大は



キヨ  
オ  
ダ  
ン  
け  
う  
だ  
ん  
教  
壇  
名

○  
教  
壇  
に  
立  
つ。  
教  
師  
と  
な  
る  
子

キヨウチヨウ

けふてい

協調

—する自サ変

○同會の目的は勞資の協調にあつた。が、今日

~~は~~ ~~その~~ ~~必要~~ ~~が~~ ~~なくな~~ ~~つた~~

↑  
する)

○今後各部協調して目標定遂に連<sup>効</sup>連<sup>力</sup>して頂

す  
た  
い。

1. 自ら変

キョ  
オ  
ツ  
ウ  
き  
よ  
う  
つ  
う  
女  
通  
名  
翻  
形  
動

○ 二人は共通の楽しみを持つてゐる。

○ 此らの小説は、此も戦争を中心と

してゐる。これが共通の点です。

○ 二人は、どことなく共通してゐますね。

キヨウテキ

けふてい

協定

—する他サ変

○本日、日本佛印間に経済協定の締結

した。

す

①各新聞協定の上、左記の通り購読料を値上

げすることになりました。

○各新聞社は購読料の値上げを協定した。

キョウ  
材ト

キヤウ  
ト

郷土

名

○こゝかゝり各自の郷土の誇り、ついでに話して

腹をまた

自慢話と伺ひませう。

○郷土色豊かた人形。

キヨオトオ  
まよるべう  
共同  
（急）——する。自升史。

○ 共同して事業を經營する。

○ 共同一致。

○ 共同財源。

○ 共同便所。

● ○ 共同生活。

○ 共同事業。

キヨ<sup>オ</sup>ヤ<sup>オ</sup>ト<sup>オ</sup> けふどう 協同 一する自<sup>カ</sup>変

○今回の大戦果は陸海協同の作戦<sup>カ</sup>功を奏  
したのである。

↑  
↓  
する

○これは先生と生徒とが協同して作られた

のです。

キヨウバイ きやうばい [競賣] ーする 他サ変

○同家の家財道具類は一括して競賣に付せ  
られたことになった

↑する

○市雑誌家具競賣しますから希望者は入札し

て下さい



干口才ハク

けふはく

脅迫

(名)

する

他十吏

押込喝

○脅迫して金をとる。

○脅迫して納得する。

○脅迫状

○脅迫状にけがれかぬ。

押込喝 強制。

○脅迫して命令に従はせる。

○脅迫されたら結末する。



キヨウ キヨウ フ

キヨウ キヨウ フ

恐怖

（名） | する 物 自

○彼は非常な恐怖に襲はれて夜も眠れな  
った。

○恐怖症にかゝる。

○落第しけしむかといふことを恐怖しゝる。

キ  
ヨ  
ウ  
ウ  
ベ  
ン  
  
け  
ろ  
べ  
ん  
  
教  
鞭  
  
(名)

△教鞭をとるといふ形で用ひる

○彼は用<sup>山田君は</sup>木<sup>は</sup>或る高等學校で教鞭をとつて

ある。

キヨウホウ

きようほう

共謀

—する。自・サ変。

○彼等は共謀して詐欺をたくらんた。け違ひ

をい。

○あはは共謀の上での悪事をす。共謀者

△悪意にのみ用ひる。

○あの人達は共謀の上であの悪事を行つた。

○共謀者

△悪意にのみ用ひる。

キヨオミ

きょうみ

興味

名

○私はいかに興味がない。(有る)

○文學に興味を持つてゐる可。

○色々なるものに興味を起させる。のが教育

の重要な真です。

○此頃「史といふものに興味を覚えまゝした。

○飛んだ所に興味を起す可。

○興味中心の小説。

ギョウム ぎげふむ [業務] (名)

○彼は業務上の過失で告発された。

訂へられた。

キヨ  
オメ  
ヱ

キ  
ヨ  
ウ  
メ  
イ

共  
鳴

(名) — する。自ナ変

(一) 共鳴り

○音の共鳴に似てお話します。

○共鳴箱。共鳴器。

○二個の音又の中一方を鳴らせば他方もやがて他方も共鳴

してきます。

△(一)の意味で用意味(一)の意味で用ひらる。学問的にはキヨ

ウメイと云ふが俗にはトモナリとも云はれる。

(二) 同感

○彼の演説は大いに聴衆の共鳴を得た。

○多くの青年は彼の説いふに共鳴した。

キヨ材二

けろゆ

教諭

中等学校の教師、但し政府の定めたる一つの資格（教員免許状をもち、判任官たる高等官の待遇をうける）をもつた者は與へる名稱。

○東京都立第一中学校教諭誰某

○彼は教諭の資格をもつてゐる。



中ヨオエウ

まぢろい

共有

(名)

す  
他サ変

○村民共有の廢水車

○共有財産

○共有物

○三軒の家が一つの井戸を共有してゐる。

( )

才口

水道 附 三軒 各用 器

口 各 家 の 各 用 物

各 家 の 各 用 物 に 加 へ ね ば

若 用

名

千二百才  
二才  
けうやう  
敬養  
（各）

敬養のあひ人（身）

敬養（身）けり。

敬養のあひ人ほどとなく下品である。

敬養のあひ人ほどとなく下品である。

キョオラク

キョウラク

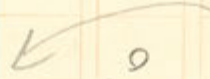
(享樂)名

—  
可  
他  
井  
史

○この世の享樂を味はむつくる。

○享樂主義。 ○享樂気分。

○人生を享樂する。



キヨ・オリ  
きやうり  
郷里  
〔右〕  
敬(ゴ)

御  
郷里はどうか。

郷里に帰る。

私の郷里は仙台です。

◎郷里に錦を飾る (成功して帰る事)

キヨオ  
リヨク  
けふりよく  
協力  
—  
する  
名動  
自サ変

の協力を求めました。

の私に協力して下さい。

の協力者はありませんか。

キョオレツ

○彼等は

強烈な刺戟

を求め

て

ぬ

きやうれつ

強烈

名

形動

3

打  
二  
オ  
レ  
ワ  
ず  
や  
う  
れ  
っ

行  
列

（名）

—  
す  
る  
自  
身  
變

○ 行列して歩く。

○ 提灯行列。

○ 行列の先には立つ。

○ 行列の後には歩く。

○ 行列を離れる。

レ

(71)



キョ  
オレ  
ン

け  
う  
し  
ん

教  
練

名

○ 教  
練  
を  
行  
い

○ 教  
練  
の  
時  
間

○ 専  
軍  
事  
教  
練

△ 教  
練  
と  
い  
へ  
ば  
直  
に  
軍  
事  
教  
練  
を  
指  
す

キヨカ 子よか 許可 (名) | する他サ変

○先生に許可を乞わ。

○許可を得る。

○許可がある。

○許可がない。

○許可にならなかつた。

○許可せらる。

○許可がなければ自由に行動しなす。

○<sup>許可</sup>がなす。○<sup>許可</sup>を<sup>許可</sup>する。○<sup>許可</sup>し<sup>許可</sup>もらった。

○許可證。○入学許可。